

会議等結果報告書

会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議	文書番号	321
		決裁期日	平成22年3月18日
名称	上富良野町協働のまちづくり推進準備委員会（第17回）		
日時	平成22年3月16日（火） 午後6時30分～午後9時4分		
場所	保健福祉総合センター1階会議室		
出席者	委員13人 町民生活課事務局3人 合計16名		

内容

〔進行：町民生活課長〕

あいさつ

丸田会長： 年度末のお忙しい中、第17回の会議に出席いただきお礼申し上げます。これまでの意見をもとに事務局で修正したものが提案されている。前回協議したページの修正報告と、復活箇所の3ページ以降について事務局から説明を受けていきたい。今月もう1回会議を開催し仕上げていきたいので各委員の協力をお願いします。

町民生活課長から、当会議の作業内容、今後の日程について説明。

議題

1 協働のまちづくり基本指針（素案）について

（事務局から修正資料の説明）

町民生活課長： 10ページまでの意見をお願いしたい。

丸田会長： 説明のあった内容について意見をお願いします。

三島委員： 図は本文のどこに関連するのか説明を入れてはどうか。特に図5は本文との関わりがわかりづらいので説明を入れてはどうか。

事務局： 図5を説明すると長くなる。本文を修正したことから関連が薄くなっている図もあると思う。今回は本文を中心に修正したので、本文に見合う図がないかどうか検討していく。

丸田会長： 写真の修正はどうか。

町民生活課長： 写真も同じく内容に見合うものがないか検討していく。

三島委員： かなり短くなっておりよいと思う。

丸田会長： 9ページは以前よりもわかりやすくなったのでないか。

久我委員： 9ページの図8はもとの方がわかりやすいと思う。

松浦委員： 元の図には議会が示されているが、修正したものには入っていない。

町民生活課長： この指針に議会をどう取り入れるかは難しい点である。議会の役割からは、議会と行政に協働は難しく、議会と町民の関係からは参画が考えられる。自治基本条例には同じ気持ちでまちづくりを作っていく観点から協働のまちづくりに議会が入っている。実際の行動に議会のことを書くことは難しいため、はじめの中に書いている。協働のパートナーをイメー

ジすることからは元の図が良いと思う

丸田会長： 一緒にまちづくりをしていくことから元の図は良いと思うので入れ替えることとする。

(事務局から修正資料の説明)

丸田会長： 10ページから16ページまで意見をお願いします。

久我委員： 16ページの「町民と行政は」は後の文章につながるので残したほうが良いと思う。

事務局： この箇所は事務局で前文に書かれていることから修正したもの。

松浦委員： 文脈から主語はあったほうがわかりやすいと思う。

丸田会長： 意見のとおり言葉は残すこととする。

町民生活課長： 13ページの「役割」の言葉について、各項目に役割を残すようにしてはどうか。

丸田会長： 役割は役所ことばと思う。何度も役割の言葉が出てくるのでもう少しやわらかい言葉にしてはとの意見。役割は命令に感じられ、優しい言葉にするとの意見だったと思う。

町民生活課長： 自治基本条例にはそれぞれに役割の言葉を用いている。役割の言葉は日常的に使われている言葉との意見もあったと思うので検討いただきたい。

丸田会長： 行政の方は意識しないかもしれないが、町民からは押し付けられる感じがあるとの意見から消した経過あり。

持安委員： 指針に基づいて具体化を図っていくのであれば、協働の主体の役割を明確にしていることがよいと思う。表題の説明文は残したほうが良いと思う。

丸田会長： 町民の役割の表現は命令に感じるのではないか。

菊池委員： 「期待されます」の言葉になっているので良いと思う。

佐川委員： このページの議論は以前に終わっていると思う。「役割」を使うというのは以前の議論に戻った感じを受ける。これまでの議論があるので生かしてほしい。これまで議論してきて、最初の案に戻すようなことをするのであれば、はじめからそのように説明するべきと思う。

町民生活課長： これまで話し合ったことを報告書にして町長に示すことになる。前回までの議論で項目が大幅に削除となり、町長に示すものとしてどうかと思う。たたき台はこれまでの議論のエキスを取り入れたものであり、このページはこれからのことを考えていくページになる。

松浦委員： 表題に「役割」は出ており説明文は生かして、各項目に役割は入れないことでよいと思う。

久我委員： 役割の言葉は残してもよいと思う。

菊池委員： 行政の役割の表現は良いと思う。これまでの議論では、役割のイメージよりも期待するような言葉を載せることになっていたはずと思う。

石田委員： 役割の言葉にこだわりはなく、書かれている内容が伝わればよいと思う。役割の言葉は押し付けではないと感じる。主体は町民と行政と書かれているが、町民の意味からこの表現でよいのかどうか。協働には活動団体もあるので、これらを含めた町民なのかどうか。

町民生活課長： 町民の定義は3ページに記載している。町民個々を指す場合と広く町民ととらえる場合が出てくる。

三島委員： ボランティアをしている側からは役割と言われたくないと思う。やっている側にとってはそれを役割といわれてはやめたくなくなってしまうのではないか。

松浦委員： 当初案では、あまりにも役割が多く使われていたが、見直されてきたと思う。

町民生活課長： この間の学習から、これまでの公共サービスをどうしていくかの議論を行ってきた。みんなでやっていこうという背景から、その主体の役割を示すしていく流れで書いてある。

松浦委員： 町民は理解してやってきていると思うので、文章の表現は優しくしていくことが良

いと思う。

町民生活課長： お互いに問題意識が共有できれば良いと思う。

丸田会長： 表題に役割は残し、説明文も残すこととする。

石田委員： 13ページの町民の言葉はそのままよいか。

町民生活課長： 町民の取り扱いについて検討していく。

石田委員： 17ページ「NPOによる～様々な活動など」は の項目に入れたほうが良い。19ページの付属機関を附にする。

町民生活課長： 意見のとおり修正していく。

丸田会長： ワークショップの結果を本編に入れることはどうか。

石田委員： タイトルは「準備委員会でのワークショップの状況」が良いのでないか。

丸田会長： タイトルを見直し本編に入れることとする。

町民生活課長： 準備委員会の役割は今回で終え、次の組織に引き継いでいくこととなるため、はじめとあとがきは次の組織の取り扱いになる。

佐川委員： この組織で議論したものが使い捨てにならないよう、過去の経過は残すなど次回に生かされるよう事務局からしっかり引き継いでいただきたい。

町民生活課長： 次の組織で作る指針には、これまでの経過が示されることを考えたい。

丸田会長： この会でやってきたこと、その役割は次の組織に生かしていただきたい。

持安委員： これまでの議論のプロセスを生かすことが大切と思う。

丸田会長： 答申は皆さん全員で手渡してはどうか。これだけ活動した会はないと思うので、皆さんから町長に意見を言ってはどうか。

松浦委員： 協力して作成してきたことを伝える機会になると思う。

町民生活課長： 答申はそのような機会を考えていきたい。今回の意見をもとに修正する素案は、次回会議の3日前くらいに配布させていただきたい。

2 その他

丸田会長： 次回会議の日程は、3月30日（火）午後7時からとする。

町民生活課長： 次年度に作る組織の委員に引き続き就任をお願いしたい。次回会議に意向を聞かせていただきたいと思う。現在の予定は、委員15人で公募も行なう予定。設置時期は6月頃、任期は2年間で予定。会議は月1～2回を予定している。

閉 会

[会議終了：21 時 04 分]